
Rotorflight 2.2.1

マニュアル

Modes編

モード・スイッチ割り当て画面



MODES

著作権: ぽすとそに

運営: ぽすとそに工房

<https://postsoni.github.io/>

著作権・利用規約

本マニュアルの著作権は ぽすとそに に帰属します。

運営: ぽすとそに工房 (<https://postsoni.github.io/>)

【許可される利用】

- ・ 個人での閲覧・学習目的での使用
 - ・ YouTube等の動画での紹介・解説（収益化含む）
- ※動画利用の際は事前にお問い合わせよりご連絡ください

【禁止される利用】

- ・ 無断転載（SNS・ブログ等への全文コピー）
- ・ 商用目的での再配布・販売
- ・ 著作者名を削除しての二次配布

お問い合わせ: <https://postsoni.github.io/>（お問い合わせページ）

Modes画面の概要

Modes画面は、送信機のAUXスイッチに各種機能を割り当てる画面です。アーム（モーター起動許可）、レスキュー、フライトモード切り替えなど、スイッチで操作したい機能をここで設定します。

設定の基本

モードの設定は「Range（範囲）」と「Link（リンク）」の組み合わせで行います。

設定	説明
Range	送信機のスイッチ位置（値の範囲）でモードを有効化
Link	他のモードが有効なときに連動して有効化
AND条件	全てのRange/Linkがアクティブで有効
OR条件	いずれか1つがアクティブで有効

重要：ARMは他のモードにリンクできません。設定変更後は必ずSaveボタンで保存してください。

1. 主要なモード

ARM（アーム）

項目	説明
機能	モーター起動を許可する（最重要）
状態表示	有効時は緑、無効時は赤で「DISABLED」と表示

警告：ARMがONにならないとモーターは回りません。安全のため、意図しないときにARMされないよう、スイッチ位置を慎重に設定してください。

【USB接続中のARMについて】

Rotorflight ConfiguratorとUSB接続しているとき、ARMは安全機能により自動的にDISABLEDになります。これは正常な動作です。

【テスト方法】

USB接続中にARMの動作をテストしたい場合：

1. 必ずプロペラを外す
2. Status画面の「Enable Arming」ボタンをクリック
3. 細心の注意を払ってテストを実施

警告：プロペラが付いた状態では絶対に実施しないでください。

RESCUE（レスキュー）

緊急時に機体を自動で立て直す機能です。姿勢を見失ったときや操縦不能になったときに、スイッチを入れると自動で機体を水平にしてホバー状態に持っていきます。

ANGLE / HORIZON（自動水平モード）

モード	説明
ANGLE	スティックを離すと完全に水平に戻る
HORIZON	スティック中央付近は自動水平、端ではアクロ

ACRO TRAINER（アクロトレーナー）

傾きを一定角度以内に制限する練習モードです。アクロ飛行の練習時に、急激に傾きすぎることを防ぎます。

PROFILE 1～6（PIDプロファイル切り替え）

Profilesタブで設定したPIDプロファイルを切り替えます。ヘッドスピードやフライトスタイルに応じてPID設定を変更したいときに使用します。

RATE PROFILE 1～6（レートプロファイル切り替え）

Ratesタブで設定したレートプロファイルを切り替えます。

2. スライダーの見方

要素	説明
青いバー	この範囲でモードが有効
赤い縦線	現在のAUXチャンネルの値
Min / Max	有効範囲の最小値と最大値（ μs ）

【リアルタイム確認】送信機のスイッチを動かすと、赤い縦線が移動します。青いバーの範囲内に入るとモードが有効になります。

スライダーの操作方法

操作	方法
範囲を移動	青いバーの中央をドラッグ
範囲を広げる/狭める	青いバーの端をドラッグ
範囲を削除	右側の × ボタン

3. 設定例

例1：2ポジションスイッチでアーム

スイッチ位置	AUX値	状態
上（安全位置）	1000	DISARM
下（飛行位置）	2000	ARM

設定：AUXチャンネルを選択し、1700～2100の範囲でARMを有効に設定

例2：3ポジションスイッチでプロファイル切り替え

スイッチ位置	AUX値	Profile
上	1000	Profile 1（範囲：900～1300）
中	1500	Profile 2（範囲：1300～1700）
下	2000	Profile 3（範囲：1700～2100）

4. 初心者向けセットアップ例

モード	AUX	範囲	用途
ARM	AUX 2	1700～2100	アームスイッチ
RESCUE	AUX 4	1800～2100	緊急レスキュー
PROFILE 2	AUX 5	1400～1600	スポーツPID
PROFILE 3	AUX 5	1700～2100	3D用PID

注意事項

ポイント	内容
ARM設定は慎重に	誤ってアームすると危険
範囲の重複注意	同じAUXで範囲が重なると予期しない動作
テスト必須	設定後、プロペラを外してスイッチ動作を確認
Save忘れずに	設定変更後は必ず保存

まとめ

Modes画面は「送信機のスイッチで何を操作するか」を設定する画面です。

【重要ポイント】

1. ARMは最重要 - モーター起動を許可する
2. RESCUE - 緊急時の自動立て直し
3. スライダー - 青いバーが有効範囲、赤い線が現在値
4. Range - スイッチ位置で有効化
5. Link - 他のモードとの連動
6. 設定後は必ずSave

【設定のコツ】

- ・ARMは誤操作しない位置に
- ・RESCUEは素早くアクセスできる位置に
- ・プロファイル切り替えは3ポジションスイッチが便利
- ・テストは必ずプロペラを外して実施

【注意】

ARMがDISABLEDの場合、Status画面の「Arming Disable Flags」で理由を確認できます。